



公明党

質問者

齋藤一信さいとうかずのぶ議員

所属議員

金藤照明きんとうてるあき議員



笠岡諸島の日本遺産認定に向けて

議員 先日、笠岡商工会議所商業部会で、笠岡諸島の日本遺産認定に向けた取り組みが検討され、同部会としても実現に向けて活動を開始しようとの見解をまとめた。市民や関係者の機運が高まっている動きが出てきた今、市として笠岡諸島を中心とした日本遺産認定への取り組みを本格的に開始すべきと考えるが、考えをたずねる。

市長 先日、笠岡商工会議所商業部代表の皆様から、笠岡活性化のために笠岡諸島を中心として、日本遺産認定に向けて取り組むことへの熱い思いをお聞かせいただいた。笠岡諸島は、それぞれの島で受け継がれ育まれた特色ある伝統や文化があり、日本遺産としてのストーリーを考えた場合、大変魅力的なテーマであり、笠岡諸島の

振興、本市活性化を図る上で有効な方法であると考え。地域活性化が目的であり、関係団体や行政だけでなく、地元住民を含む市民全体の協力、盛り上がりが必要不可欠。商工会議所を初め関係団体と連携協力の中で機運向上に努め、日本遺産に向けて取り組んでみたい。

議員 歴史文化基本構想策定への取り組みの考えをたずねる。

市長 笠岡市には、原始、古代から現代に至るまで培われた数多くの文化財があり、瀬戸内海や笠岡諸島など特有の個性も有している。保存、活用に向けて歴史文化基本構想を策定することは大いに意義がある。構想策定に向けて取り組んでいく。



徳清会

質問者

仁科文秀にしなふみひで議員

所属議員

栗尾順三くりおじゆんぞう議員

齋藤重雄さいとうしげお議員

森岡聰子もりおかさとこ議員

馬越裕正うまこしゆうせい議員

東川三郎ひがしかわさぶろう議員

喫緊の課題である企業誘致への熱い思いはあるか

議員 新規企業への積極的な営業活動は行ってきたか。成果は。

市長 しごとづくりセンター職員が本市の気候条件や災害に対する優位性、優遇措置などを説明し、有望な案件は私からお願いに参った事例がある。その結果、現在交渉中の案件が出てきている。

議員 企業誘致・働く場の確保は本市にとって喫緊の課題である。市長は、行事・イベントに毎回出席している。これを減らし企業へのトップセールスなどにもっと時間を振り向けるべきではないか。

市長 行事に参加することで、市民の意見を聴くことができる。今の状況の中で時間の調整をし、各企業の訪問をすることは可能だ。

市民のために戦略的な市営住宅政策は立てられないか

議員 定住促進に力を入れるなら若い人たちや本市への移住者のために市民が関心を寄せている園井の市営住宅の建て替えの推進ができないか。



市長 今後確保すべき戸数として現在約940戸の市営住宅は、10年後には約810戸と推計している。他の市営住宅の長寿命化、耐震等を優先し、園井団地については、その後には計画的な建て替えを検討する。

議員 すぐには具体的、現実的な話にはならないということか。

建設産業部長 補助金を考えるのでそのつき方による。何年までには言えない。民間活力を利用し集約的建て替えを検討したい。